

## 学生・教員が心地よく授業を進めるために多様な学生といかに接するか

### 発達障がいに焦点を当てて

大学という高等教育機関においては、学力や関心、経験、性格の異なる学生、発達障がいを持ちながら学ぶ学生など多様な学生たちが存在する。そのような学生たちに授業を実施するなかで、予想外の学生たちの行動（私語、不規則発言、奇異行動、妨害行動など）を目の当たりにし、対応に困惑することもある。そのような事態に対して、医療職種を持たない教員や職員がどのように対応し、他学生と共に学ぶ環境を作っていくにはどのようなスキルが必要かということについて意見交換し、また専門家からのレクチャーによって、教員・職員が今後どのような対応を取っていくことが望ましいかということグループディスカッションを通じて検討していくことを目的とする。具体的事例を解決することを目的とはせず、高等教育機関の入学試験を通過し、日常学習行動が遂行可能な学生に対して、発達障がいという視点から全体論的な対応方法を検討していくこととする。

**日時** 2013年11月27日(水) 17:30～19:45 **場所** 2号館 510会議室

**参加申込方法** 件名を「11月27日ワークショップ参加」として電子メール(所属・氏名)にて11月22日(金)までにお申し込みください。

**対象** 事前申込いただいた本学教職員のみを対象とさせていただきます。(事前申込・定員制/25名・先着順)

**お問合せ** 学事センターFD推進担当 内線3522 Email: sophia\_fd@cl.sophia.ac.jp Homepage: http://www.fd-sophia.jp/

**ワールドカフェ** 発達障がいへの対応について、ワールドカフェでディスカッション  
3つのテーマを10分間ずつ3クール構成でワールドカフェを実施する  
■不真面目だとみえる学生への対応 ■こだわりの強い学生への対応 ■キレル学生への対応

**レクチャー内容** ■発達障がいの概要 ■広汎性発達障がいについて ■発達障がいをもつ学生自身の困りごと・視点  
■発達障がいをもつ学生への対応 (教職員が備えられるとよい個人レベルの対応・コンサルテーション方法など)

#### 講師

さいとう かずひこ  
齊藤 万比古



#### 略歴

1975年3月 千葉大学医学部卒業  
1979年7月 国立国府台病院児童精神科  
1999年4月 国立精神・神経センター国府台病院心理・指導部長  
2003年4月 国立精神・神経センター精神保健研究所児童・思春期精神保健部長  
2006年5月 国立精神・神経センター国府台病院リハビリテーション部長  
2010年4月 独立行政法人国立国際医療研究センター国府台病院精神科部門診療部長  
2013年4月 母子愛育会総合母子保健センター愛育病院小児精神保健科部長

#### 著書・訳書

- ① 「ひきこもりに出会ったら ～心の医療と支援～」(編著者) 中外医学社
- ② ウィナー、ダルカン編「児童青年精神医学大事典」(総監訳) 西村書店
- ③ 「子どもの心の診療シリーズ6 子どもの人格発達障害」(編著者) 中山書店
- ④ 「発達障害が引き起こす不登校のケアとサポート」(編著者) 学研
- ⑤ 「発達障害が引き起こす二次障害のケアとサポート」(編著者) 学研
- ⑥ 「第3版注意欠如・多動性障害-ADHD-の診断・治療ガイドライン」(編著) じほう
- ⑦ 「子どもの心の診療シリーズ1 子どもの心の診療入門」(編著者) 中山書店
- ⑧ 「不登校対応ガイドブック」(編著) 中山書店
- ⑨ 「不登校の児童・思春期精神医学」(単著) 金剛出版
- ⑩ パル・クミン他著「教師のためのアスペルガー症候群ガイドブック」(監訳) 中央法規出版